



2013年7月15日

富士重工業 創立60周年を迎えて

富士重工業は、2013年7月15日で創立60周年を迎えました。

富士重工業は、1917年に創設された中島飛行機研究所を祖としています。同研究所が中島飛行機株式会社、富士産業株式会社へと変遷し、終戦後の1950年に12社に企業解体され、そのうちの5社が結集し、1953年7月15日に富士重工業株式会社を設立しました。

1958年には、航空機事業において国産初のジェット練習機T1の初飛行に成功すると共に、自動車事業では軽乗用車「スバル360」を発売しました。その後、自動車事業は、国産初の本格的FF方式の「スバル1000」、国産初の量産AWD「レオーネ」、ステーションワゴンブームを牽引した「レガシィ」、先進運転支援システム「EyeSight」など、それぞれの時代でエポックとなる独創的で魅力あるクルマ作りと、新しい技術提案をしてまいりました。

また、航空宇宙事業は国際共同開発への参画や無人機システムなど世界トップクラスの技術を誇り、汎用エンジン事業はタフで頼れる生活基盤を支える動力源として信頼の高い個性的な製品を展開しています。

これらの革新の歴史と同時に、どの時代にも機能性、安全性、信頼性を基本とした「確かなモノづくり」を貫き、お客様から支持を頂いております。

富士重工業は、Confidence in Motion ～信頼と革新～ を行動指針として、これからも世界で事業を展開する企業市民としての責任を果たしながら、世界の皆様からのご期待に応え、さらに信頼される企業となることを目指します。